

図書館からのお知らせ

～ 内容紹介～

『ツバキ文具店』

主人公の雨宮鳩子は今では珍しい代書屋を最近継いだ11代目。彼女が先代と呼ぶ祖母の死後、休業状態にあった店を細々と営む20代の独身女性だ。

年賀状の宛名書きに恋文や絶縁状、亡き夫の天国からの手紙まで依頼は幅広く、文面や字体まで当人になりきって代筆したりする、憑依に近い激務である。



一方当の鳩子とはいうと、厳しかった先代に未だ確執を抱え、過去の傷と今とを彼女はどうか切り結ぶのか？

山神に栗飯供へ手を合はす
高橋 きみ

裏道へ出れば日当る葛の花
富田 とり

菊挿せば亡き母の顔浮かびくる
安田 久子

蔓珠沙華口づさみつつ和紙出荷
佐山けさ子

裏庭の南天つつき小鳥来る
河西カナメ

青ぶだう皮ごと食ぶや甘かりき
田村 好子

ほてい葵水に浮かびて花三本
飯野 トヨ

一本のすすき離れず山の蝶
馬場 芳

空青く日射しの強し秋の蟬
飯野はつ志

うすめ飲む赤じそジュース甘きかな
鈴木 啓子

稲穂垂れ川風に揺れ始めけり
杉田 静枝

山晴れて白長茄子の下りけり
高橋 ツネ

初ものの栗茹で家族団欒す
梅澤さくえ

雨上がり赤とんぼ朝空に舞ふ
西 ツル

夕暮れの虫の音色や耳すます
関口 真吾

桜たで庭の真中に薄紅よ
関口 侑子

秋の空子らも交じへて体操す
高野 利雄

阿波踊り編み笠の中笑顔あり
野口利江子

さつま蔓返すやとかけ逃げ出せり
小宮 勉

えのころ草村道沿ひに穂のゆらく
千野ささ子

川風にコスモスうねり波立てり
岡部富美子

秋高し雲なき所へりの飛ぶ
土屋 厚子

猫じやらし穂先つひばむ雀かな
初雁 功子

城跡に幟の立ちて秋祭
山田 美子



六十四才急の病いで逝きし亡夫
想いで重ね卒寿迎えし
渡邊 京子

百円の切り売り南瓜もどめ来て
侘しさを食む夕餉とはなり
渡邊美枝子

年々に君が育てし忘れな草
思ひ出し今日庭に種蒔く
坂本 美江

清やかな初秋の一日を^{ひと}楽しみて
色とりどりにハイカラー列成す
白石 礼子

曾孫から「はいばあちゃん」と
プレゼント
どちらも可愛鳳仙花の種
渡邊阿里子

和紙の里コーナー

道の駅

「和紙の里ひがしちちば」 誕生1周年

- ※東秩父村和紙の里では1周年を記念して11月3日(金・祝)～5日(日)に感謝祭を行います！イベント中、条件クリアにより、
 - *500円以上お買い上げで非売品！1周年記念「道の駅きっぷ」をプレゼント(300枚限定)
 - *1500円以上お買い上げで和紙製品(他いろいろ)が当たるくじ引きを用意しています！(ハズレくじなし!!)
 - ※JA農産物直売所では同日に地元産農産物特売を行います！！
 - ※また、道の駅スタンプが1周年限定カラーになります！！(12月10日まで)
- 皆さん、ぜひ一緒に1周年をお祝いしましょう！

詳細はお電話にて…東秩父村和紙の里 ☎82-1468



みどりの杜俳句会

文

芸

白石短歌会